

証券コード：3360



SHIP HEALTHCARE

生命を守る人の環境づくり

2026年3月期 決算説明会資料

シップヘルスケアホールディングス株式会社

2026年5月15日

目次

グループ理念	3
2026年3月期業績	4
2027年3月期の主な取り組みと見通し	13
株主還元	30

グループ理念

SHIP

Sincere
(誠実な心)

Humanity
(「情」の心)

Innovation
(革新者の気概)

PartnerSHIP
(パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し せい そく だつ
至誠 惻 怛

2026年3月期業績



決算ハイライト

(百万円)	2025.3 (実績)	2026.3 (計画)	2026.3 (実績)	前期比		計画比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	678,229	700,000	718,163	+ 39,933	+ 5.9%	+ 18,163	+ 2.6%
売上総利益	66,743	—	66,703	▲39	▲0.1%	—	—
営業利益	24,779	26,000	24,482	▲296	▲1.2%	▲1,517	▲5.8%
営業利益率	3.7%	3.7%	3.4%	—	—	—	—
経常利益	26,023	26,500	26,331	+307	+ 1.2%	▲168	▲0.6%
経常利益率	3.8%	3.8%	3.7%	—	—	—	—
親会社株主に 帰属する当期純利益	15,128	15,500	13,394	▲1,734	▲11.5%	▲2,105	▲13.6%

決算ハイライト

売上高

TPP

大型PJは予定通り計上

TPP

2025年5月に参画したODA専門商社の業績寄与

MSP

新規SPD受託施設5件が今期より稼働開始

MSP

経営母体の異なる複数病院との一括契約SPD案件がスタート

営業利益

TPP

大型PJ案件は計画通り進捗するも、前期にはシニア向け分譲マンション竣工・販売があったが、今期は竣工物件無し

TPP

リニューアル案件における省エネ関連工事の部材納期遅延

TPP

メーカー系における部品価格高騰及び生産遅延

MSP

前期に稼働を開始した24件のSPD施設の業績が堅調に推移

LC

価格改定を上回る水道光熱費/労務費の上昇

PH

統合による経営効率化が数値に現れる

経常利益

営業外

持分法適用会社からの「持分法による投資利益」は前期比減少

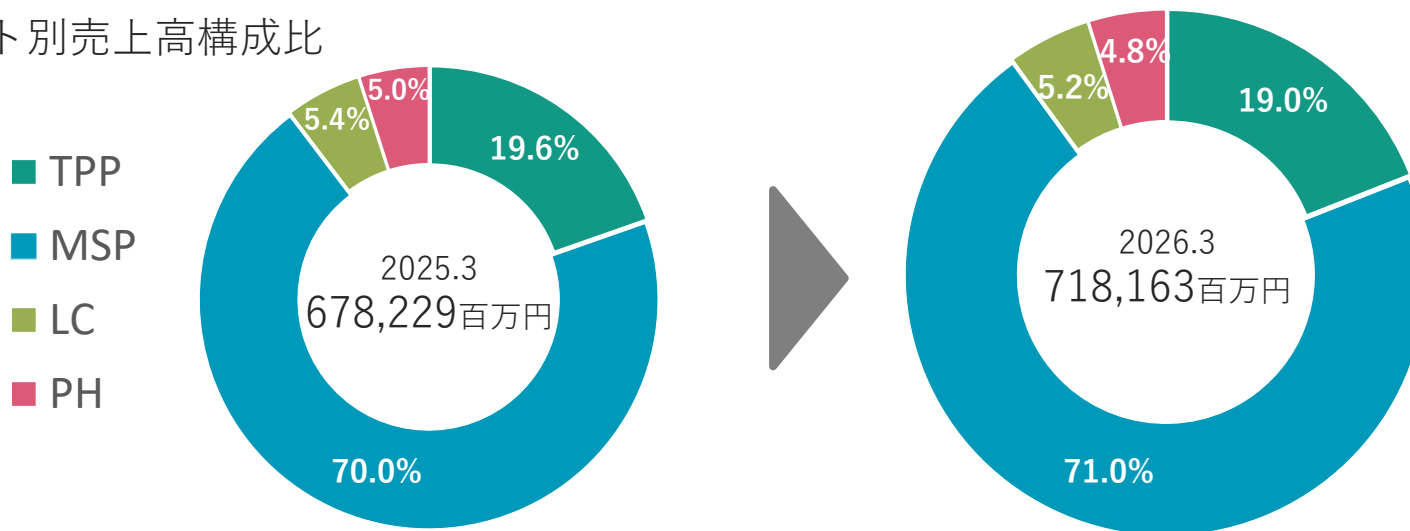
営業外

円安の影響により為替差益を計上（前期は為替差損を計上）

セグメント別 売上高

(百万円)	2025.3 (実績)	2026.3 (計画)	2026.3 (実績)	前期比		計画比	
				増減	増減率	増減	増減率
トータルパックプロ デュース事業(TPP)	133,167	134,000	136,604	+ 3,437	+ 2.6%	+ 2,604	+ 1.9%
メディカルサプライ 事業(MSP)	474,919	494,500	509,569	+ 34,649	+ 7.3%	+ 15,069	+ 3.0%
ライフケア事業(LC)	36,674	37,000	37,322	+ 647	+ 1.8%	+ 322	+ 0.9%
調剤薬局事業(PH)	33,468	34,500	34,666	+ 1,198	+ 3.6%	+ 166	+ 0.5%
合計	678,229	700,000	718,163	+ 39,933	+ 5.9%	+ 18,163	+ 2.6%

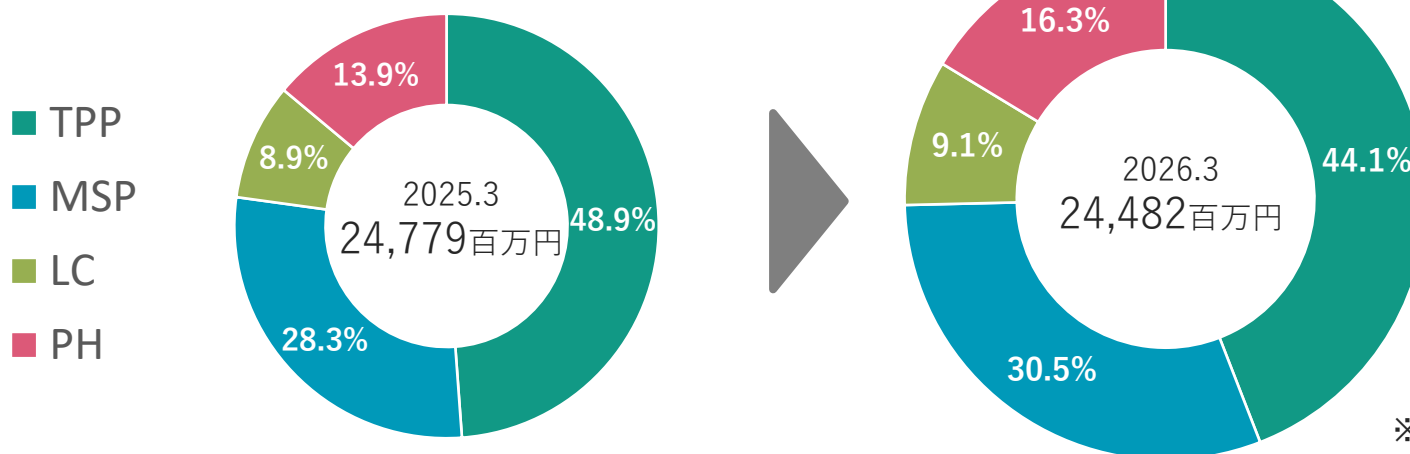
■ セグメント別売上高構成比



セグメント別 営業利益

(百万円)	2025.3 (実績)	2026.3 (計画)	2026.3 (実績)	前期比		計画比	
				増減	増減率	増減	増減率
トータルパックプロ デュース事業(TPP)	12,017	12,100	10,812	▲1,204	▲10.0%	▲1,287	▲10.6%
メディカルサプライ 事業(MSP)	6,970	7,600	7,484	+513	+7.4%	▲115	▲1.5%
ライフケア事業(LC)	2,189	2,600	2,216	+27	+1.2%	▲383	▲14.8%
調剤薬局事業(PH)	3,426	3,700	4,004	+577	+16.9%	+304	+8.2%
調整額	175	-	▲35			-	-
合計	24,779	26,000	24,482	▲296	▲1.2%	▲1,517	▲5.8%

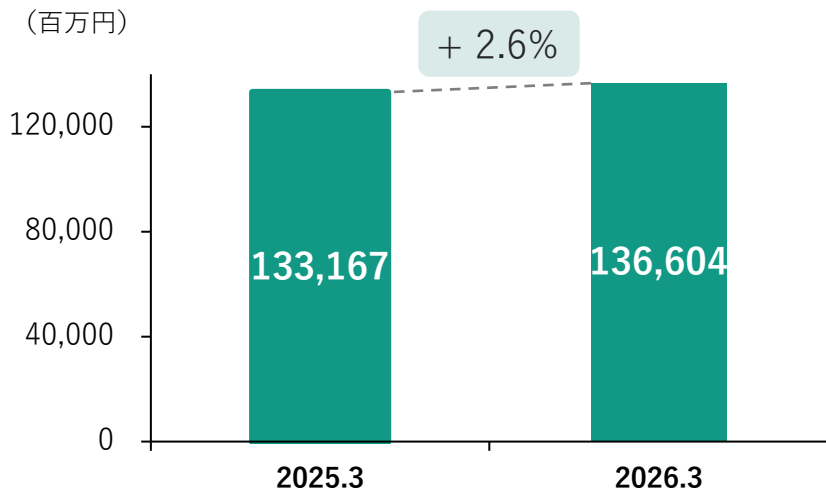
■ セグメント別営業利益構成比



※調整額は除いております。

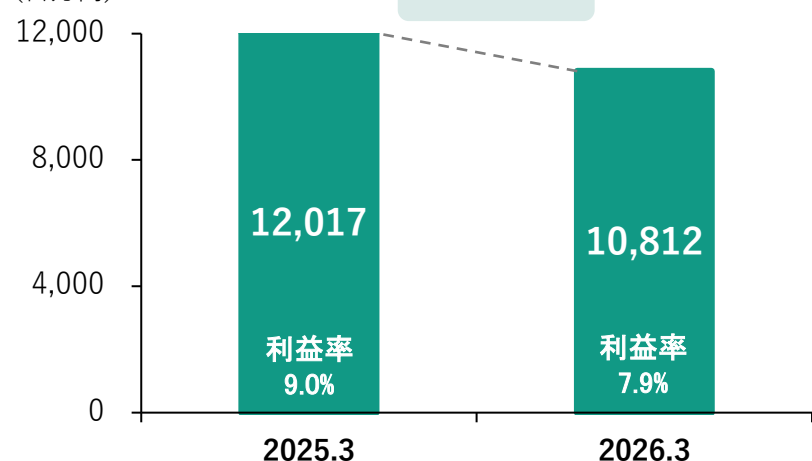
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



プラス面

- 大型PJ案件は予定通り計上
- 2025年5月に参画したODA専門商社の業績寄与
- 医療情報系ソリューションビジネスが好調
(システム選定・導入支援、インフラ構築関連)

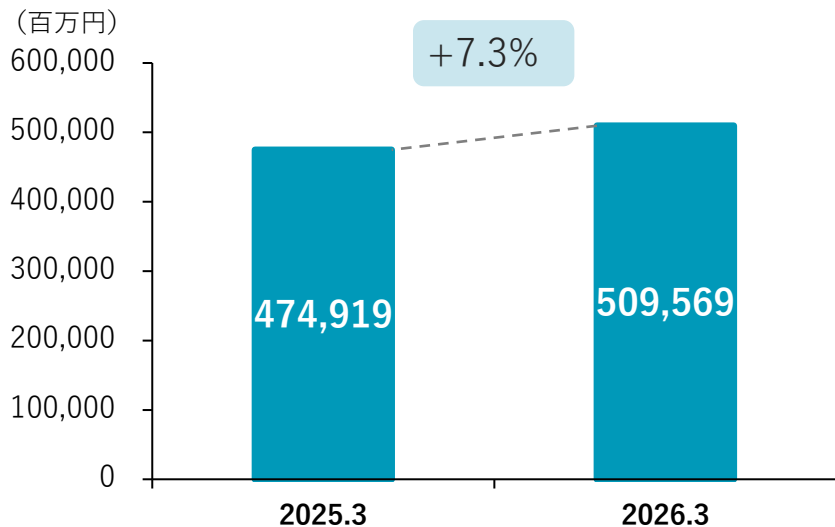
マイナス面

- 前期には大型案件であるシニア向け分譲マンション竣工・販売があったが、今期は竣工物件が無かったため減益に
- リニューアル案件における省エネ関連工事の部材納期遅延
- メーカー系における部品価格高騰及び生産遅延
- M&A手数料などの一過性の諸費用を計上

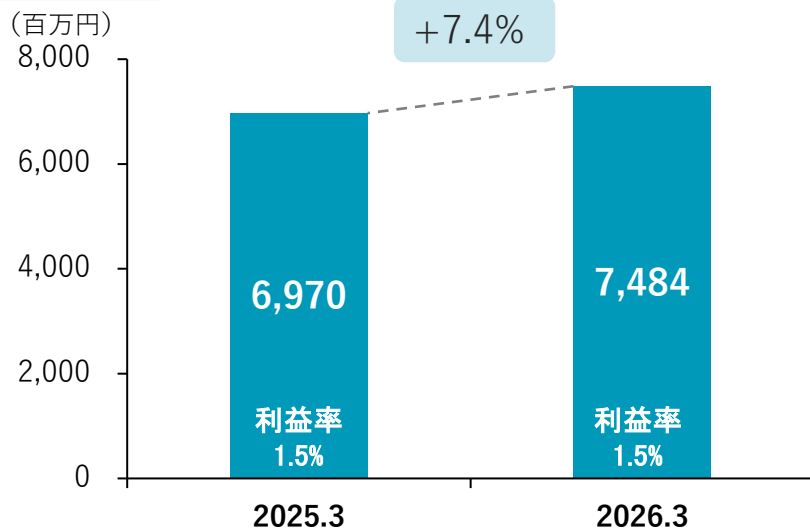
売上高 (百万円)	2025.3 実績	2026.3 実績	増減	増減率
PJ・ルーチン	62,117	65,790	+3,673	+5.9%
メーカー系	33,581	33,061	▲519	▲1.5%
海外	361	617	+255	+70.8%
キングラン	26,314	25,409	▲905	▲3.4%
その他 (※)	10,792	11,725	+933	+8.6%
セグメント合計	133,167	136,604	+3,437	+2.6%

(※) 警備事業、建物管理事業、動物病院運営事業、医療刑務所事業の4社

売上高



営業利益



プラス面

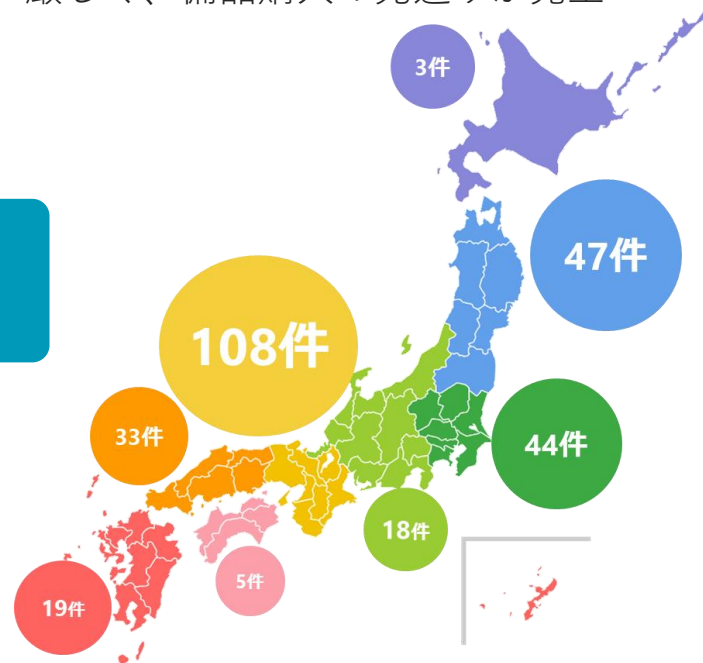
- 前期に稼働開始した24件のSPD施設の業績が堅調に推移
- 新規SPD受託施設5件が稼働開始
- 経営母体の異なる複数病院との一括契約SPD案件がスタート
- 新たに首都圏の医療材料物流拠点が稼働
(病院様、メーカー様から多数見学要望あり)

マイナス面

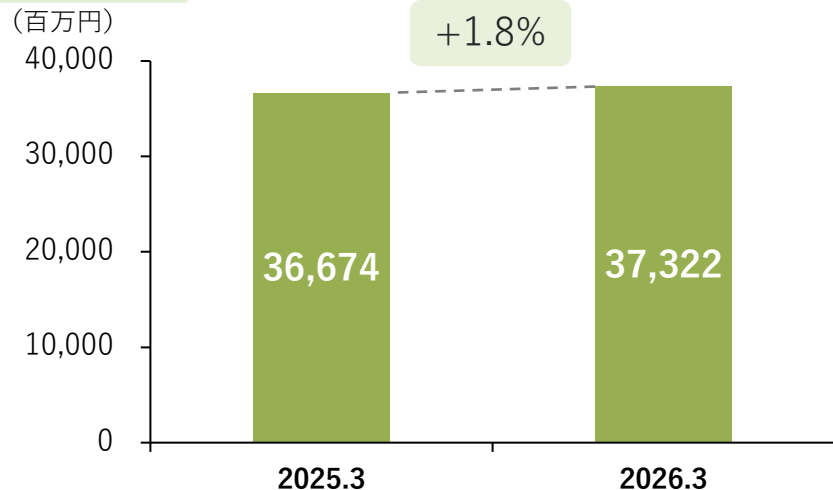
- 病院経営が非常に厳しく、備品購入の先送りが発生

(SPD受託状況)

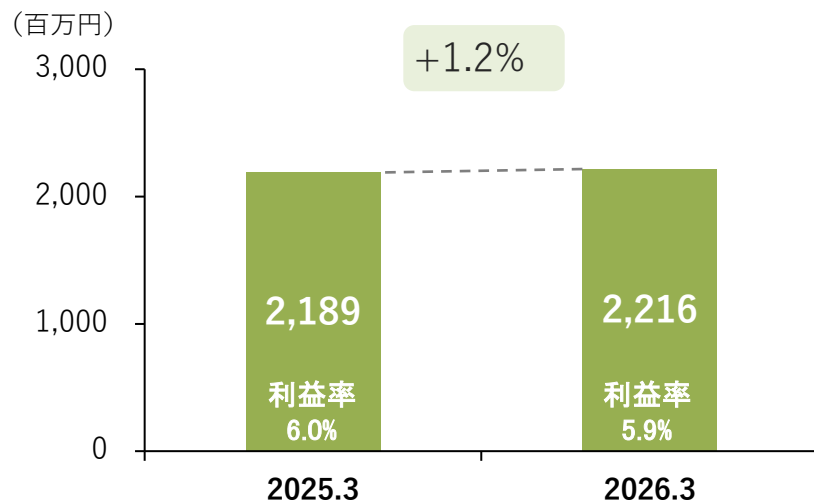
全国 277 件
約102,000床
(2026年3月31日現在)



売上高



営業利益



プラス面

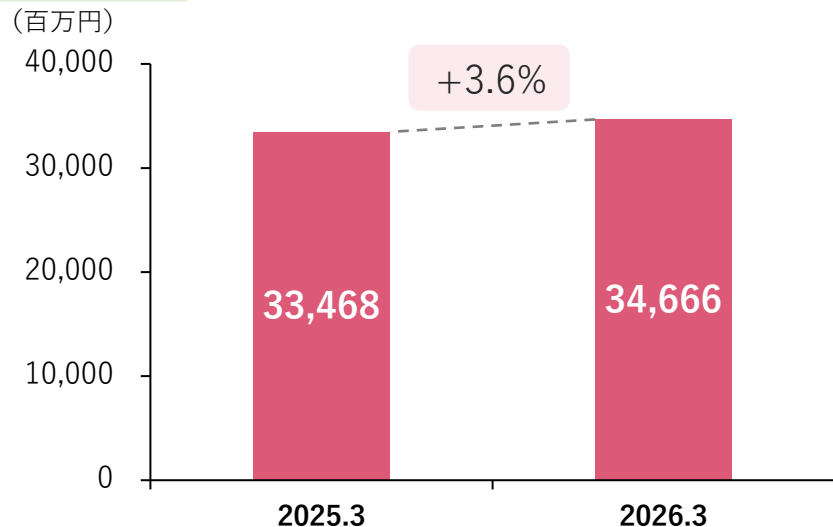
- 【ライフ】 2025年9月より管理費の再見直しを実施
- 【フード】 ドリームキッチンの契約施設数伸長
- 【フード】 原価高騰を鑑み不採算施設の厨房業務撤退又はドリームキッチン使用運営への転換を実施

マイナス面

- 【ライフ】 水道光熱費/労務費の上昇
- 【ライフ】 入居率は高水準を維持するも前期比では減少
- 【フード】 食材費高騰
- 【共通】 人手不足による派遣費、委託費の高騰

売上高 (百万円)	2025.3 実績	2026.3 実績	増減	増減率
介護サービス	24,415	24,741	+326	+1.3%
食事提供サービス	12,259	12,581	+321	+2.6%
セグメント合計	36,674	37,322	+647	+1.8%

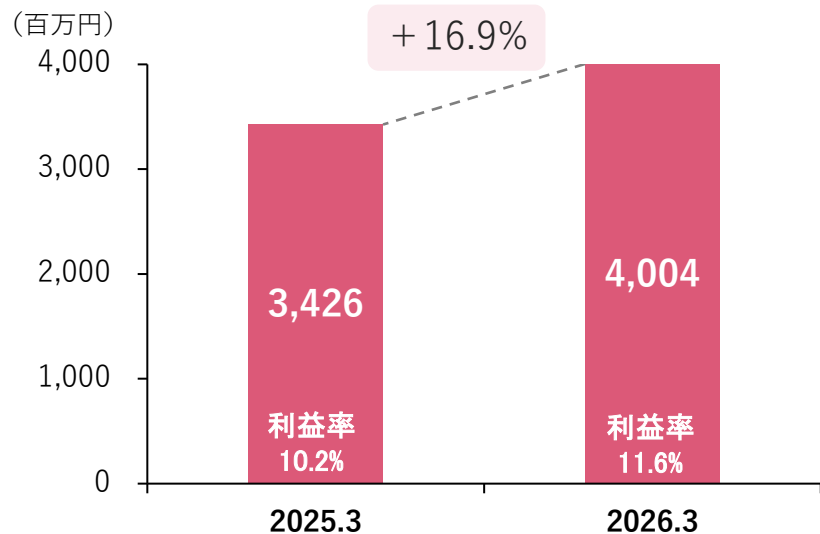
売上高



プラス面

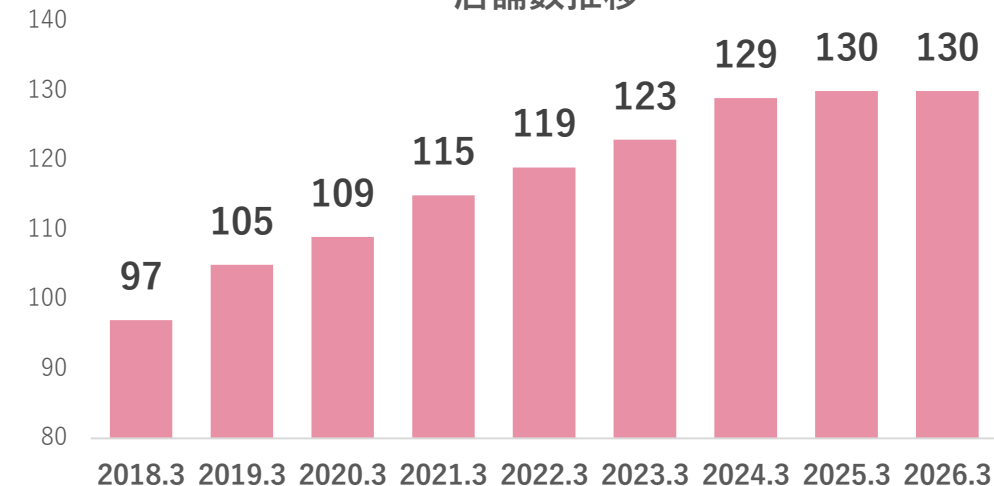
- 2025年4月1日付で4社の統合が完了
- 統合効果により、求人開拓費の削減等を実現
- 前期末より経営効率化の観点から、不採算店舗を中心に5店舗を閉鎖・統合
- 一方で新たに5店舗がグループ参画

営業利益



(店舗)

店舗数推移



2027年3月期の 主な取り組みと見通し



成長戦略（グループ全体）

■ グループリソースのより一層の拡大拡充を図る

多様化、複合化する
ヘルスケアの課題

拡大するヘルスケアニーズに応えながら、高付加価値型の事業運営を推進

質の高い医療提供体制

- 地域包括ケアシステムの推進
- 在宅医療・訪問看護の確保

働き方改革

- 労働人口減少
- タスクシェア、アウトソーシング

感染症対策

- 医療機関の機能に応じた感染対策

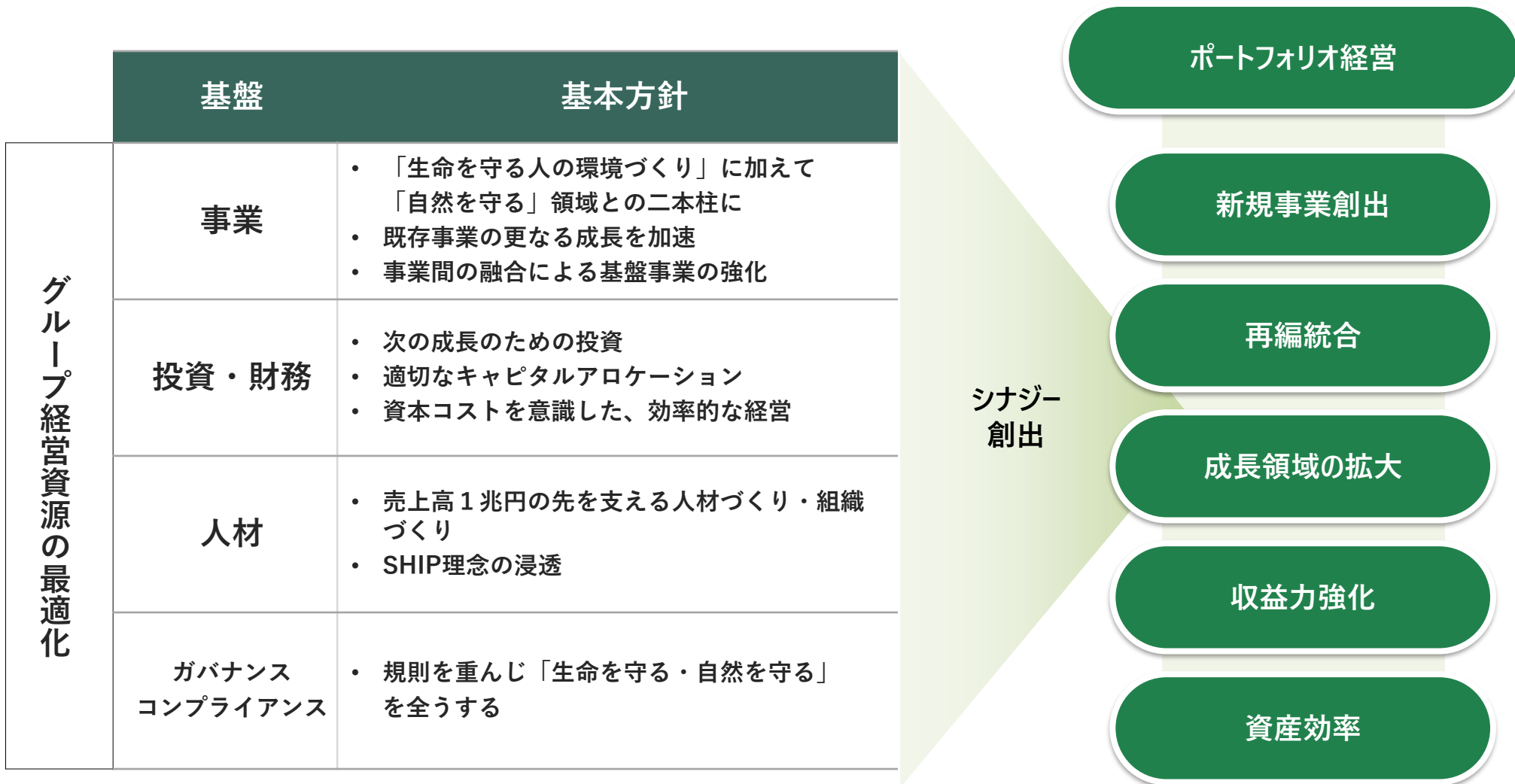
持続可能性の向上

- 限られた医療資源
- 社会保障費の増大



















中期5ヵ年経営計画 基本方針

■ グループ経営資源の最適化によるポートフォリオ経営



中期5ヵ年経営計画 達成に向けて

■ 病院を取り巻く環境変化と当社の提供価値

医療政策関連施策	環境変化・病院経営課題	病院ニーズ・求められる価値	当社の提供価値(ソリューション)
	 <p>病院収益環境の悪化 物価高・人件費・材料費上昇により、病院経営が悪化。価格転嫁が難しい</p>	 <p>コスト削減 在庫圧縮、業務負担軽減</p>	
<p>政策による医療機関支援 国は補正予算等を通じ、医療機関への経営支援を推進</p>	 <p>医療人材不足の深刻化 看護師・技師・事務職が本来業務以外にも時間を取られている</p>	 <p>医療職が本来業務に集中できる</p>	
<p>病院再編・病床適正化 病院再編・統合や病床適正化の動きが進展</p>	 <p>高度医療・診療効率化ニーズの拡大 手術室稼働率向上や検査・診療効率化への需要が拡大</p>	 <p>手術室稼働率向上や診断、治療時間短縮により、手術件数・検査件数の拡大余地</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・購買支援、SPD運営、物流効率化 ・院内SPD、院外物流、自動倉庫、物流拠点活用 ・物品管理、器材準備、中材・手術室運営支援 ・手術室、ICU、病室等のリニューアル ・検査機器、医療DX、ネットワーク ・情報インフラ支援 ・セキュリティ対策、仮想基盤、医療情報システム支援 ・複数病院一括SPD、広域物流、業務受託 ・トレーサビリティデータを活用した医療資源、病院経営最適化支援
<p>診療報酬改定 急性期病院を評価する診療報酬体系への見直しが進展</p>	 <p>更新・改修需要の拡大 建替えは高額・長期化するため、部分改修ニーズが増加</p>	 <p>病院機能を止めずに機能改善</p>	
<p>医療DXの加速 業務効率化・医療の質向上・情報連携強化への需要が拡大</p>	 <p>医療DX・情報連携需要の拡大 電子カルテ、ネットワーク、セキュリティ、情報連携が必要</p>	 <p>業務効率化、情報共有 医療安全向上</p>	
	 <p>物流・保管効率化ニーズ 院内型SPDや在庫保管にスペース・人手が必要</p>	 <p>省人化、スペース削減 安定供給、BCP対応</p>	
	 <p>複数病院の効率的な運営 地域連携、病院再編、グループ病院運営が進んでいる</p>	 <p>グループ単位での 効率化・標準化</p>	

グループ連携案件事例

(例1) コンサルティング業務からの他事業へ展開事例

TPP事業	TPP事業		MSP事業	FD事業
	 <p>手術室</p>		 <p>SPD</p>	 <p>患者給食</p>
<p>展開</p>	 <p>リハビリ</p>	 <p>家具</p>		

A病院

コンサルティング業務

(例2) メディカルサプライ事業からの他事業へ展開事例

MSP事業	TPP事業			
	 <p>多用途筋機能評価運動装置</p>  <p>放射線治療装置</p>  <p>无影灯</p>  <p>データ管理サーバ</p>			

SPD業務

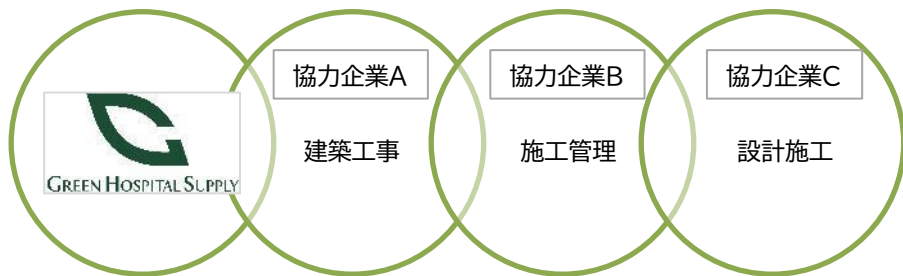
診療材料販売先

- リニューアル工事（手術室・ICU等設備工事や医療施設一部改築案件等）を継続受注することにより、今後の病院リモデル案件の獲得へ繋げる。

リニューアル案件に対応できる体制づくり（例）

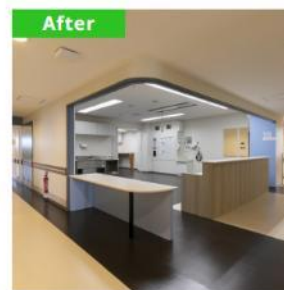
当社グループ中核企業であるグリーンホスピタルサプライが2024年より、工事協力会社の会、「MFグリーンの会」を発足。今後増加するリニューアル案件に向けて、協力会社とも関係強化を図る。
現時点協力企業数 31社

MF（Medical Facility=医療と設備）

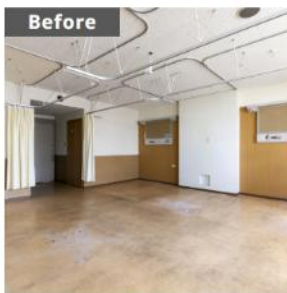


目的:安全衛生の推進と事故防止を目的に、教育・情報共有・改善活動・行事・パトロール・講習会・交流を行う。

リニューアル事例



A病院
ナースステーション改築案件
ナースが業務を行いやすいよう、動線の整理、機能面の向上を図り、患者様があたたかみを感じられるような柔らかいデザインに変更。



B病院
病室（大部屋）改築案件
患者様が快適な入院期間を過ごしていただけるよう、部屋の空間を最大限活用できる設計のもと改築を行った。

家具の製造販売を行う事業会社を既にグループに



- 医療DX推進本部の設置等により、基盤となるネットワークインフラ整備案件需要が増加
- 病院ネットワーク構築の豊富な実績に基づき、トータルソリューションを提供



ネットワーク／セキュリティ設計・構築 — 医療システムを止めない基盤づくり

- ネットワークを分離設計し、障害・不正アクセスの影響を最小化
- 医療現場の円滑稼働を前提とした高信頼インフラを構築



医療情報システム・ネットワークコンサルティング — 医療現場を理解した専門人材が支援

- 電子カルテ・部門システムの導入経験者が対応
- 選定から導入・運用までを中立的立場で支援



仮想基盤 設計・構築 — 院内システムの効率的な統合・最適化

- 複数の部門システムを仮想基盤上で統合管理
- ベンダー調整から構築まで一貫対応し、運用負荷を軽減

セキュリティコンサルティング — 医療情報を守るためのリスク可視化

- 現状分析により脆弱性・リスクを可視化
- 医療機関に必要な対策を優先順位付けして提案



医療現場に不可欠なIT基盤を、継続的に支えるストック性の高いサービス

■医療にまつわるODA（政府開発援助）専門貿易商社「株式会社テックインターナショナル」が2025年5月27日付でグループへ参画。

※ 独立行政法人国際協力機構（JICA）の専門家として政府開発援助（ODA）事業に携わっていた経験を元に設立。これまでに30年以上、世界の国々において国際貢献に携わってきた実績。（1990年設立／本社・東京）



MRI



医療コンテナ

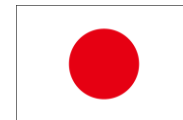
毎年
50プロジェクト

医療機器・医療設備
(納品・据付)

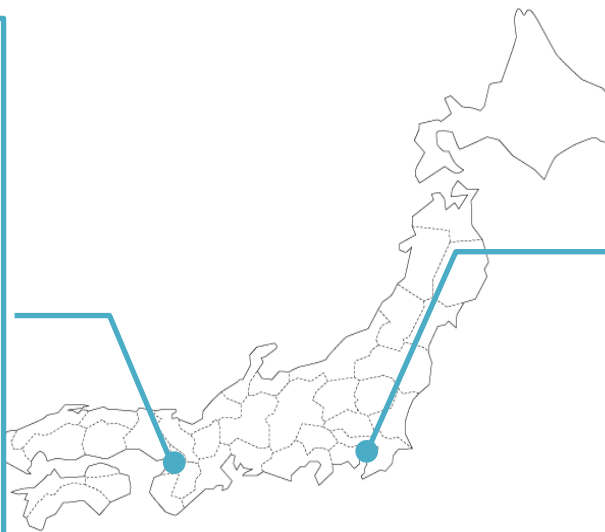
SHIP HEALTHCARE GROUP



発注
(一部、商社からも含む)



- 従来の大阪SCに加え、新たに首都圏・医療材料物流拠点「SHIPグランベース 東京」を開設
- 医療材料供給の停滞を防ぐため、災害時には大阪SCと拠点間で連動してBCP対策を行う



物流構想の5つのポイント

1 将来を見据えた働き手不足に対応した物流改革

人材の集約化・ロボット化による業務効率化

2 新たな購買戦略

拠点を活かした在庫保有や物流改善により、メーカー各社との連携強化

3 顧客ニーズに対応できるグループのブランド戦略

経営母体が異なる複数病院一括契約にも対応

4 BCP対応

医療材料の安定供給を可能とする体制の構築

5 病院内スペース不足による院外への新たなニーズ

院内型SPDは病院に多くの空間を要することから院外ニーズへの需要獲得

- 1 施設概要**
- 延床面積 4,274坪 (14,129㎡)
 - 取扱品目数 約70,800品目
 - 稼働開始 2026年2月

2 先端技術の最大限活用した設備導入

日本発の自動倉庫システム「RENATUS※」を中核とし、AI・ロボティクス・RFIDなどの先進技術を導入。

- ▶ SPD中核機能で地域医療物流を最適化
首都圏の医療現場を強力にサポート

3 自動倉庫による業務削減比較 (ピッキングの場合)

項目	これまでの「人」	これからの「自動倉庫」
病床数		850床
対象部署数		70部署
1日カード枚数		2,400枚
人数	12人	1人
総時間数	35時間	7.9時間



※ 超高効率の自動倉庫を製造・販売を行うRENATUS ROBOTICS株式会社が開発した統合型自動倉庫システムの名称。

■ MSP事業をメインとした、グループの再編統合により総合力を強化。

与信力・交渉能力の向上

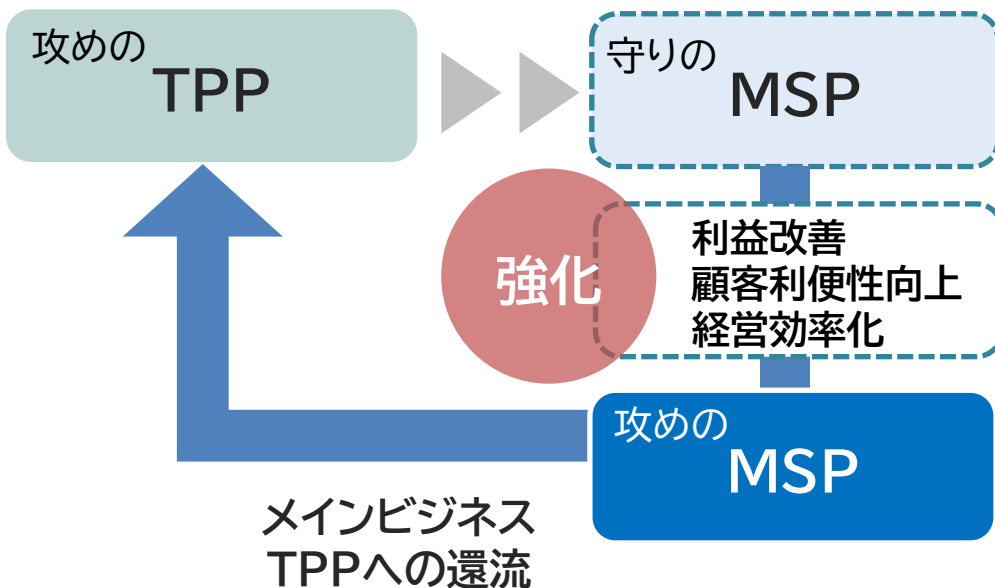
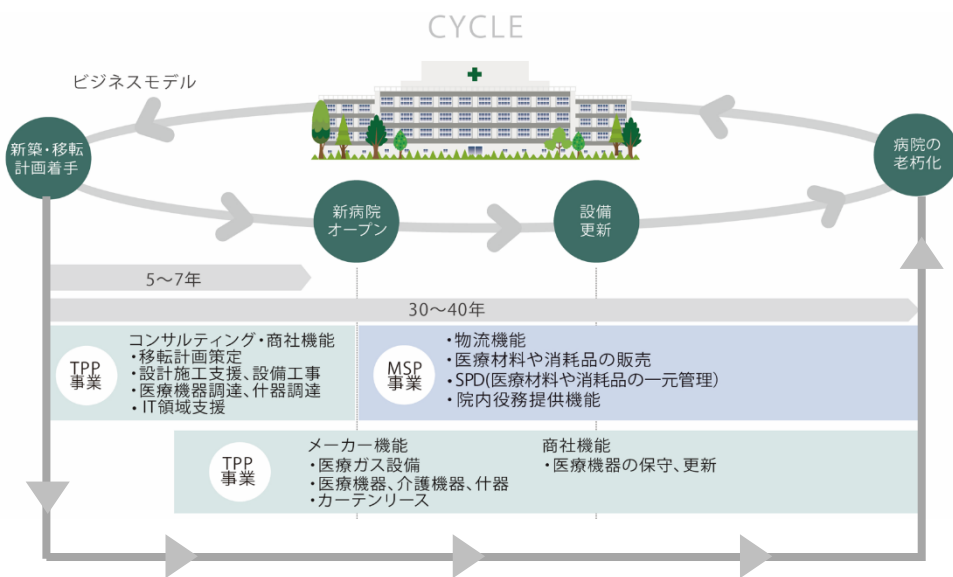
- ・メーカー交渉
- ・病院価格下げ圧力

在庫管理・物流能力

- ・物流センター
(関西から関東への拡大)

分析ノウハウ

- ・IT化、SIPやデジタルツインへの挑戦
- ・経営データの蓄積と分析



■ 高齢者施設向け食事提供サービスの規模拡大



香川県セントラルキッチンにて
HACCPシステムに基づいた衛生管理



SHIP HEALTHCARE FOOD

高齢者施設向け食事提供サービス
ドリームキッチン



SHIP HEALTHCARE FOOD

多摩セントラルキッチンにて食品安全
規格FSSC22000に沿った衛生管理



供給

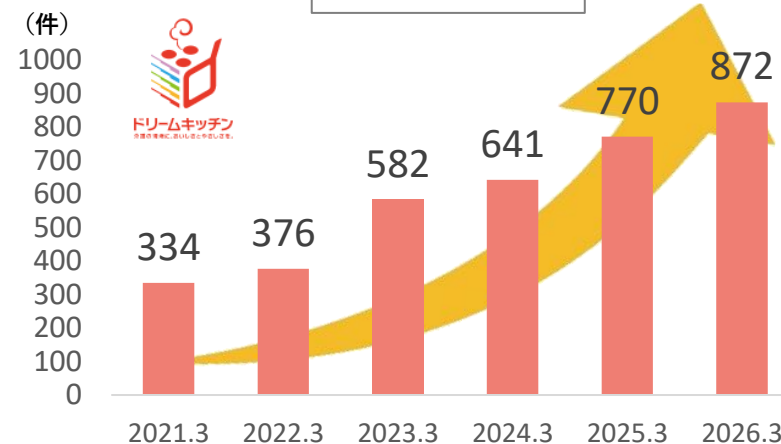


供給



- グループ間で製造委託や設備の共同活用により
効率化・高品質化を図る
- グループ運営施設のみならず、外部顧客への
販路・ビジネス規模の拡大
- 運営開始から6年目を迎え、提供件数は順調に推移

提供件数推移



2027年3月期 連結経営計画

(百万円)	2025.3 (実績)	2026.3 (実績)	前期比		2027.3 (計画)	前期比	
			増減	増減率		増減	増減率
売上高	678,229	718,163	+ 39,933	+ 5.9%	740,000	+ 21,836	+ 3.0%
売上総利益	66,743	66,703	▲39	▲0.1%	—	—	—
営業利益	24,779	24,482	▲296	▲1.2%	26,000	+1,517	+ 6.2%
営業利益率	3.7%	3.4%	—	—	3.5%	—	—
経常利益	26,023	26,331	+307	+ 1.2%	26,500	+ 168	+ 0.6%
経常利益率	3.8%	3.7%	—	—	3.6%	—	—
親会社株主に 帰属する当期純利益	15,128	13,394	▲1,734	▲11.5%	16,000	+ 2,605	+19.5%
1株当たり当期純利益	160.34円	144.19円			173.88円		
1株当たり配当	58円	60円			65円		
連結配当性向	36.2%	41.6%			37.4%		

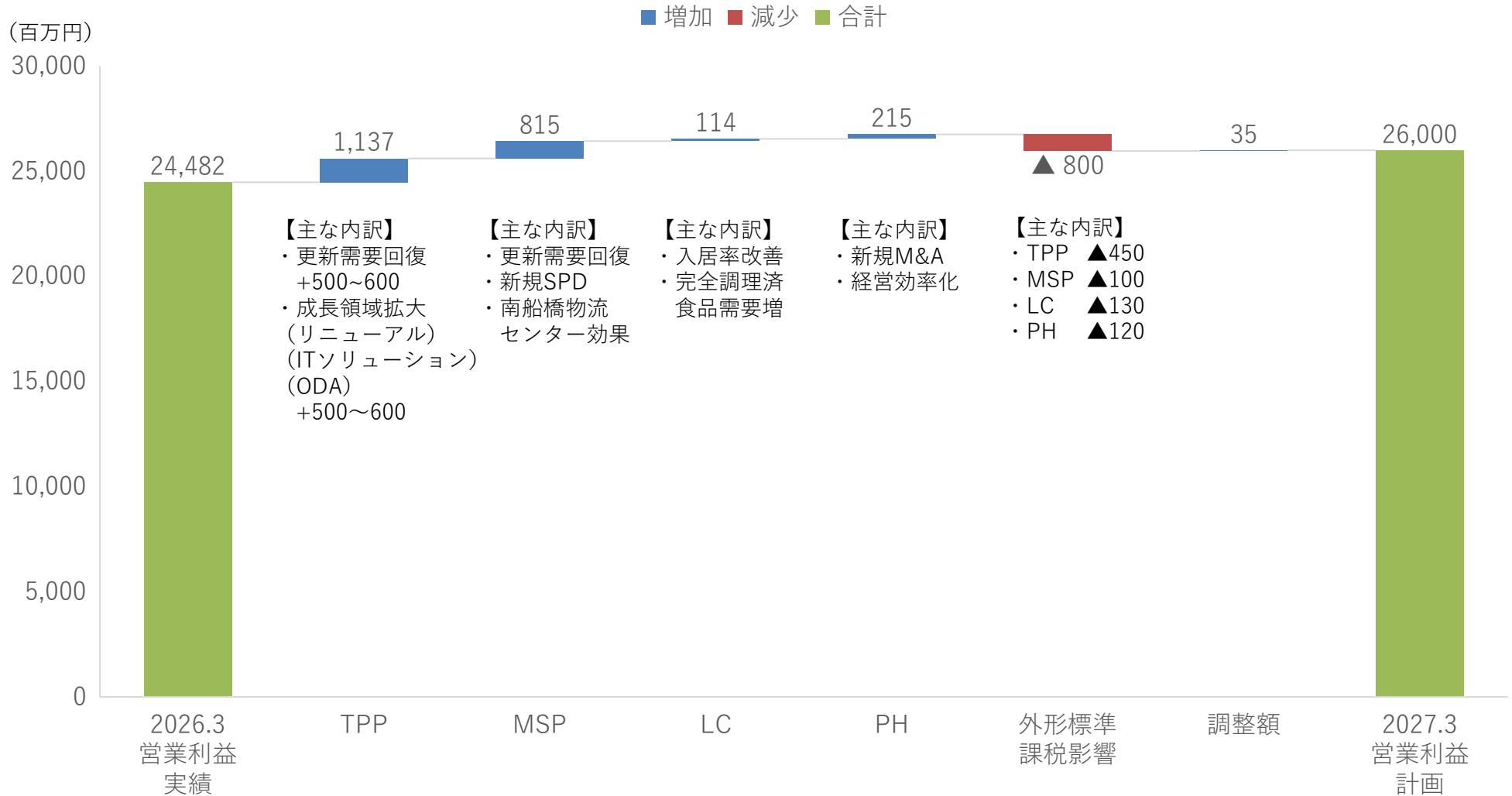
2027年3月期 セグメント別経営計画

(百万円)	売上高			営業利益		
	2026.3 実績	2027.3 計画	前期比	2026.3 実績	2027.3 計画	前期比
トータルパックプロデュース事業 (TPP)	136,604	141,000	+4,395	10,812	11,500	+687
メディカルサプライ事業 (MSP)	509,569	528,000	+18,430	7,484	8,200	+715
ライフケア事業 (LC)	37,322	35,000	▲2,322	2,216	2,200	▲16
調剤薬局事業 (PH)	34,666	36,000	+1,333	4,004	4,100	+95
調整額				▲35		
合計	718,163	740,000	+21,836	24,482	26,000	+1,517

※ 外形標準課税の対象法人の範囲拡大の影響を反映
(新たに租税公課約800百万円を販管費に計上予定)

2027年3月期 営業利益達成に向けて

■ 外形標準課税対象法人の範囲拡大の影響を反映した2027年3月期計画

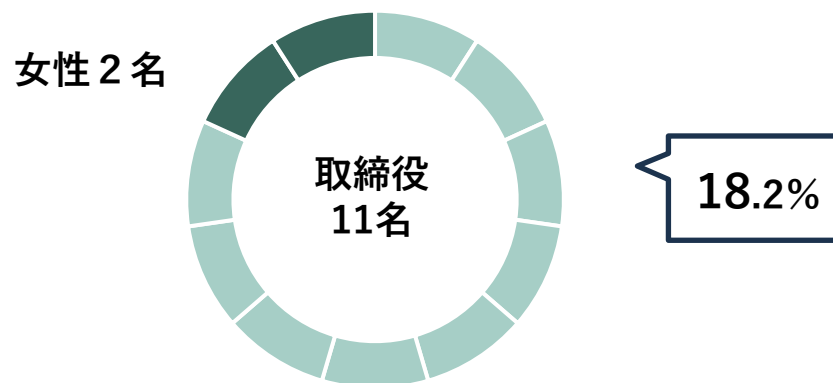
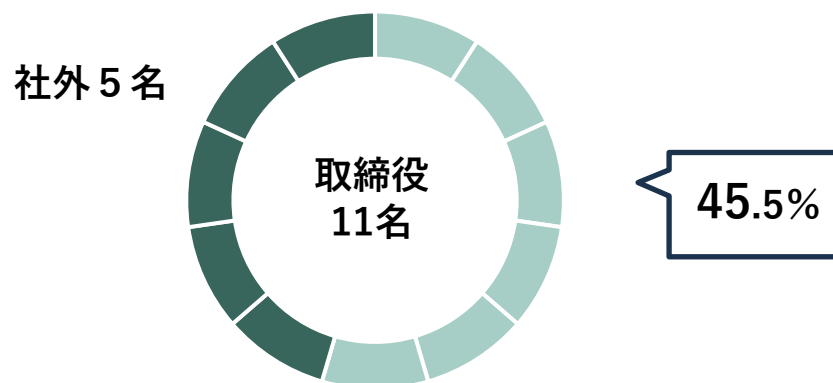


ガバナンス体制

	役職	氏名
取締役	代表取締役会長	古川 國久
	代表取締役社長	大橋 太
	代表取締役副会長	小川 宏隆
	取締役副社長	横山 裕司
	常務取締役	海野 眞史
	取締役	安田 芳郎
	取締役 (社外)	佐野 精一郎
	取締役 (社外)	今別府 敏雄
	取締役 (社外)	伊藤 文代
	取締役 (社外)	西尾 信也
	取締役 (社外)	内山 由紀
監査役	監査役 (社外)	水島 藤一郎
	常勤監査役	戸田 成重
	監査役 (社外)	南 浩一
	監査役 (社外)	佐野 信行

取締役比率

- 社外取締役比率は45.5%となる見込み
- 女性取締役比率は18.2%となる見込み



(※) 取締役の構成および各比率は、2026年6月25日開催予定の定時株主総会において取締役選任議案が承認された場合の見込みです。

株主還元



株主還元

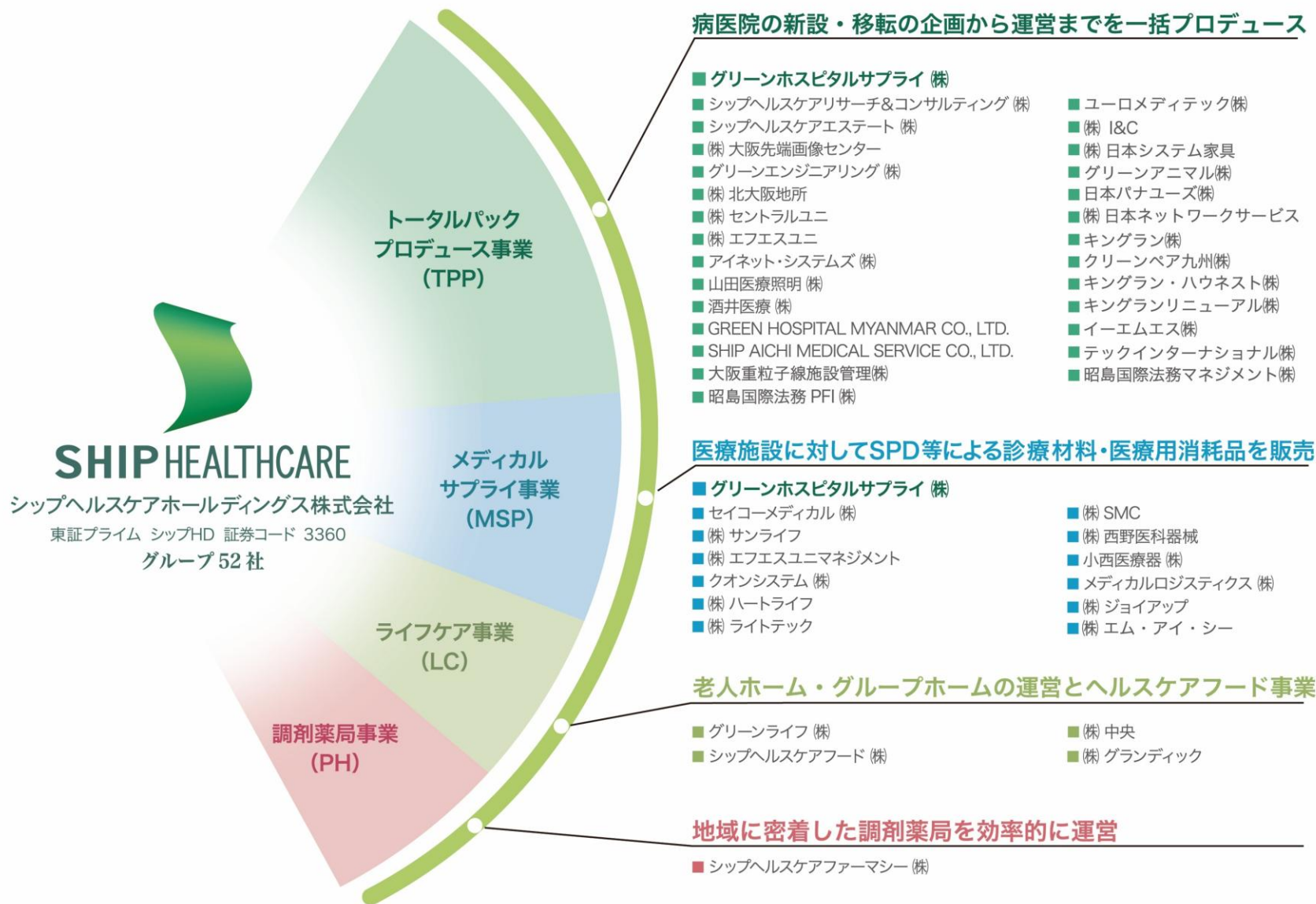
		2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2027.3 (予)
1株当たり 配当 (円)	普通配当 (注)	32	35	37.5	40	41	42	45	58	60	65
	記念配当	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
	合計	32	35	37.5	40	41	42	50	58	60	65
配当金総額 (百万円)		3,238	3,334	3,556	3,774	3,868	3,962	4,717	5,472	5,521	—
連結配当性向 (%)		31.3	30.7	30.2	30.8	31.8	32.8	34.2	36.2	41.6	37.4

(注) 当社は、2021年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期以前の数値につきましても、当該株式分割が2018年3月期以前に実施されたと仮定した数字としております。

10期連続増配を達成

当期配当性向は41.6%に

当社グループ一覽



※2026年4月30日現在

お問合せ窓口



「ONE SHIP」マーク

追い風を受け前進する帆を表したSのかたちは、
いかなる時でも目標を目指し航海をつづける
SHIP理念を表象しています。

「ONE SHIP」は、
社会要請という強い風を受け、
ヘルスケアの未来という光を映しながら
社会の荒波を航海する一艘の船を表しており、
シップヘルスケアグループの結束を象徴しています。

- I R 窓口：経営企画部
- 電話番号：06-6369-0130
- メールアドレス：ir-info3360@shiphd.co.jp
- ホームページ：<https://www.shiphd.co.jp/>

本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。

MEMO